令和6年度「個別施設に関する意見交換会」意見・質問一覧表

●概要

開催日	開催場所	対象施設名	参加者数
令和6年5月31日（金）	一色岡会館	旧葉山はばたき	17名

●意見等一覧表

項番	意見・質問	内容	回答
1	旧葉山はばたきの活用に関する意見等	広く活動できるようなホールがほしい。	貴重なご意見として参考にさせていただく。
2		都会の方は葉山町に住みたいという声が多いが、葉山町に住んでいると不便を感じ、子育て世代の方は利便性のある場所を選んでしまうのではないかと。日中は高齢者が集い、夕方や夜は子どもを対象にした食堂(子ども食堂)があるとよい。	
3		幅広い世代の方の居場所や相談場所があるとよい。町が所有する施設を使う際に手続きに手間を感じる人が多い。利用する際は無償や安価だとありがたい。	
4		高齢者が一休みできる場がほしい。第2岡会館は月に数回無料で利用できるが、いつでも利用できる場があるとよい。	
5		町で使える寺子屋があればよい。無駄のない計画で運用し民間に貸し出すのもよいのではないかと。	
6		障がいのある子にとって地域の交流が必要。何かあった際にすぐに相談できるような場所があるほうがよい。	
7		気軽に駆け込み相談ができる場所、サロンなどがあるとよい。	
8		高齢化が進んでいるので葉山町の医療体制を充実させるべき。	
9		専門的な使い方と多目的な使い方の両方の意見が出ているが、どちらがよいか考えると多目的な使い方がよい。	
10		この地域からだと医療機関が遠くて不自由な思いをしている。医療に関して相談できる場所や薬を処方する場所にはできないのか。葉山ハートセンターに行くときは、大道でバスを乗り換えないといけない。	

項 番	意見・質問	内 容	回 答
11	施設の管理方法	施設の管理が負担であり、町が一括で管理してくれることも検討してもらいたい。	保健センターのケースでは申請すると利用できるが、使った後に誰かが破損させてしまったケースがあり、電気や火の消し忘れなどもあり管理することは難しく大きな問題であると認識している。
12		第1岡会館と第2岡会館は休日と週末は予約が殺到する。旧葉山はばたきが活用できるなら、第3岡会館になると嬉しいが管理の問題がある。一色第3岡会館ができればそこだけを別団体に指定管理してもらうことは可能なのか。	広域的な視点で捉えてもらい、管理を一色町内会連合会で行ってもらえるならば検討の余地はあると思っている。
13		一色岡会館は町内会が管理してきたが、町民いこいの家とダイヤル式の鍵により町で管理してもらえると個人がより自由に使える状態になると思う。町全体の施設管理の方向性を考えてもらえるとありがたい。	財政面だけではなく、公共施設を誰が管理していくのかという問題があり、民間の管理により収入を得ながら運用していく方法はある。
14	既存施設の存続	財政面から既存の施設を使い続けたほうがよいと思う。どのように町民に利用してもらおうか考える必要があり、高齢者がもっと簡単に利用できるようにしてほしい。施設を利用することにより葉山町の活性に繋げてほしい。	貴重なご意見として参考にさせていただく。
15		いずれは第1岡会館、第2岡会館、公園、旧葉山はばたきを活用できる方法を考え、活用に向けた検討を進めてもらえるとありがたいが、当面はこのまま既存の施設を活用できればよいと思っている。	
16	一色岡会館の修繕等	一色岡会館のエアコンは買い替えを検討してもらいたい。床が剥がれて危険な状態になっているので町に修繕をお願いしたい。	所管課が状況を確認する。
17	多世代交流と地域活動拠点	誰でも参加でき、多世代が集まれるような場があるとよい。スペース貸しではない交流できる仕組みづくりをしてもらいたい。多世代、交流、地域、インクルーシブがポイントになると思う。30年、40年使えるとよい。これから地域活動を行うための拠点としての活用もよい。町内の各地区で町民活動が盛んになると他地区の活動にも参加してみたい。	貴重なご意見として参考にさせていただく。
18	誰のための施設とするのか	旧葉山はばたきは利便性のある場所ではないので、地域の方が使えるプランに絞ったほうがよいと思う。町全体のための施設にするか地域のための施設にするか決める必要がある。	
19	売却の可能性	旧葉山はばたきは売却の可能性も検討してよいと思う。	
20	方向性の検討期限等	方向性はいつまでに決めるのか。検討している間は借りられないのか。	町制100周年を機に、令和7年6月を目途に方針を公表する予定がある。貸出の可否については今後検討していく。
21	多世代交流の行事	人口が減少していくので、世代ごとの行事ではなく多世代が交流できる行事が開催されるとよい。	本日の意見交換会では、「多世代間交流」がキーワードであり、使いやすく、気軽に立ち寄れるなど今後の方針の柱になると感じた。